

## ACCESS アクセス



- 予讃線「今治駅」下車  
「せとうちバス」今治～波方ループ線  
系統番号 4・6 約35分  
系統番号 3・5 約50分  
「玉生八幡神社前」下車徒歩5分
- 予讃線「波止浜駅」下車 車で10分
- しまなみ海道「今治北IC」より約5Km 車で10分

独立行政法人海技教育機構 (JMETS)

## 国立波方海上技術短期大学校

〒799-2101 愛媛県今治市波方町波方甲 1634-1  
TEL 0898-41-5278 (教務課) FAX 0898-41-5038  
URL <https://www.jmets.ac.jp/namikata/>

校舎本館



実習棟



学校HP



進学情報



公式X



360VR



独立行政法人海技教育機構

# 国立波方海上技術短期大学校

なみかた

2025

## Namikata Spirit

ガッツがありスマートでチームワークがとれる船員を目指します



# キミの未来航路へ

海に囲まれた島国・日本。エネルギー資源から食料や日用品にいたるまで、国内の貨物の約4割が船で運ばれています。日本中の港をつなぐ内航海運は、まさに国内物流の大動脈。本校は、その船を安全に動かす航海士、整備する機関士のプロを育てる学校です。

その手で巨大な船を動かし、人々の暮らしをつないでいくために。専門知識や技術を身に付け、来島海峡を舞台に励むキミたちの大きな夢を全力で応援したい。瀬戸内航路の真ん中で、コンパスはいまキミの未来を指している。

校訓

魂<sup>KON</sup> 知<sup>CHI</sup> 和<sup>WA</sup>

本校では、「魂」、「知」、「和」の三つを校訓としています。海という大自然の中で船舶を安全に運航するためには、

荒波を乗り越えていく逞しさと情熱： 「魂」

船を自在に操る知識と技術： 「知」

乗組員相互の融和と信頼： 「和」

が必要です。全ての学生に、船員として求められるこれらの資質、すなわち「シーマン・シップ」を身に付け、いずれ日本の海上物流を支える中核的な人材に育てほしい。校内に掲示した校訓には、その強い思いが込められています。

## Expert

# 日本の海運を支える エキスパートへ

## 船乗りへの夢を叶える教育制度

本校は、国内航路の貨物船や客船を運航する船員を養成する国土交通省所管の教育機関です。船を操縦する航海士と、その機関を運転する機関士、両方の資格を同時に取得でき、大型練習船による9ヶ月の乗船を含む2年間の短期間で、優秀な船員を育成しています。

## プロの船員を最短で養成

- 「航海士」「機関士」を2年で養成
- 四級海技士免許(航海・機関)の両方を取得



## 環境が人を育てる

今治市波方町は海上交通の要衝である来島海峡に面しており、この海域で週2回の校内練習船等の海上実習を行います。充実した航路標識、多数の通航船、複雑な地形と潮流など、他の船員教育機関にはない絶好の環境で密度の濃い実習を行うことができます。入学者が波方校を選んだ理由アンケートで、「来島海峡で実習できるから」がトップになっているほどです。

## 高い国家試験合格率

(2019~2023年度実績)

航海士

**100.0%**

合格者数 426名 / 受験者数 426名

機関士

**99.1%**

合格者数 422名 / 受験者数 426名

## 安定した就職率

(2019~2023年度実績)

就職率

**99.8%**

就職者数 404名 / 就職希望者数 405名

求人倍率

約 **10** 倍

# Navigation officer

学科1

## 航海士

航海士は、船を安全に航海させるとともに荷役に関する職務を行います。一等航海士～三等航海士までのランクがあり、その上には船長がいます。

航海士を目指すまでの流れ

船長



航海士



四級海技士（航海・機関）



国立波方海上技術短期大学校

**2年間** 座学・実習 1年3ヶ月  
乗船実習 9ヶ月



高等学校

四級海技士取得までの流れ

四級海技士（航海・機関）取得



学校授業による筆記試験免除

練習船航海実習による乗船履歴

卒業後の口述試験

日本の海は  
すべて知っている



### 海上実習

校内練習船「くるしま」に乗船し、基本的な操船や船位を求める実習を行います。



### 航海・運用

航海士に必要な知識である「航法」や「航海計器」、「船の構造」や「操船」など、船舶を安全に運用することについて学びます。



### ARPA（アルパ）シミュレータ実習

操船シミュレータで、レーダーの取扱い方法や衝突回避操船を学びます。



### 航海実技

係船に必要なロープやワイヤーロープの取扱い方を専門的に学習します。

# Engineer

## 機関士

学科2

機関士は、船を動かす機関や他の機器の運転、保守、整備に関する職務を行います。一等機関士～三等機関士までのランクがあり、その上には機関長がいます。

船の心臓は  
自分が護る

機関士を目指すまでの流れ

機関長

機関士

四級海技士（航海・機関）

国立波方海上技術短期大学校

2年間 座学・実習 1年3ヶ月  
乗船実習 9ヶ月

高等学校



実習・海上実習

船舶の運航、機関の運転や取扱いについての技術を習得します。



船用機関

ディーゼル機関やボイラ等の構成及び作動について学びます。



機関実技

船に搭載している機器類の整備作業実習や、溶接実習を安全第一で行います。



機械工作

船内にある工具の使用方法や機械材料などについて学びます。

四級海技士取得までの流れ

四級海技士（航海・機関）取得

学校授業による筆記試験免除

練習船航海実習による乗船履歴

卒業後の口述試験

# Curriculum

## カリキュラム

本校のカリキュラムは大きく分けて、学校における「座学・実技・実習」と、大型練習船による3ヶ月×3回の「練習船航海実習」で構成されています。1年次は主に学校でしっかりと基礎を学び、2年次は練習船での実習を通して現場の技術者に求められる実践的な知識や技術を習得します。

### 教育科目

	科目	単位
必修科目	航海運	8
	海用	5
	海運法規	3
	海洋気象	1
	電気電子工学	4
	機械工作	2
	計測制御	2
	情報技術	1
	船用機関	7
	内航海運実務	1
実習	航海実技	4
	海上実習	7
選択科目	海運実務英語	1
	航海特論	0.5
	機関特論	0.5
単位認定科目	卒業研究	1
	乗船体験実習	1
特別活動	三級海技士試験・筆記	3
	特別教育活動	1
	練習船実習航海	9カ月
	計	55単位(9カ月)



### 座学・実技・実習

本校卒業後は、四級海技士資格を持って内航船に乗り組み、見習いの期間を経て、航海士や機関士として活躍します。パランスの取れた職業人としての能力を養うため、座学や実技、実習に加えて、乗船体験（インターンシップ）制度や海事都市今治の立地を活かした造船所見学など、魅力あるカリキュラムを用意しています。



### 練習船航海実習

3ヶ月間の実習を3回行う練習船航海実習。この実習で、海上生活への適応力を養い、運航技術を体得します。



### 国家試験

卒業生は、卒業式の翌日から国家試験（口述試験）を受験します。本校の航海及び機関両方の最近5年間の合格率の平均は、99.1%となっており、非常に高い合格率を誇っています。合格すれば、晴れて四級海技士（航海・機関）の免許受有者となり、プロの船員の仲間入りを果たします。

### 航海実技

船乗りならではの当たり前前のロープワーク、様々な結びや加工等の技術を習得します。



### 校内練習船（くるしま）

海上交通の要衝・来島海峡を舞台に船の運航全般にわたる実習を行います。



### 船内生活

航海実習中は、船が自分たちの家となります。共に過ごす仲間は家族のような存在です。



### 救命講習（海上訓練）

船体を放棄し、水中に飛び込む場合に備えた訓練を行います。



### 来島マーチス

来島海峡航路の航路管制などを行う、来島海峡海上交通センターを見学します。



### 造船所見学

海事都市今治に拠点を置く造船所を見学します。

## NAMIKATAだから 学べる実践即応型 学びシステム

## Schedule / 1年生

### 1年 [前期]

座学・実技・実習				夏季休業	座学・実技・実習
4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
● 入学式 ● しまなみウォーク	● 球技大会	● 救命講習 (心肺蘇生)	● 救命講習 (海上訓練)	● 内航船乗船体験	● 救命講習 (船員災害防止協会)

### 1年 [後期]

座学・実技・実習			練習船航海実習（第1船）		
10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
● 1日海上実習 ● 造船所見学	● 研修旅行		● 練習船航海実習（第1船）		

## Schedule / 2年生

### 2年 [前期]

練習船航海実習（第2船）			座学・実技・実習	夏季休業	座学・実技・実習
4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
● 練習船航海実習（第2船）			● 1・2年生対面式 ● 就職先応募		● 就職試験

### 2年 [後期]

練習船航海実習（第3船）			座学・実技・実習		
10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
● 練習船航海実習（第3船）			● 無線講習	● 来島マーチス見学	● 卒業式 ● 国家試験

# Message

## 卒業生からのメッセージ

### ● 夢を叶え活躍の場を広げる先輩たち

#### 大きな船を自らの意志で操ることができる ダイナミックな仕事



玉川高等学校普通科出身  
南和海事株式会社勤務  
平成29年度卒  
本郷 駿介さん

現在は、コンテナ船に乗船しており、航海中の見張りや操船、気象観測、海図への位置記入等の航海当直を行っています。また、航海中、電源を必要とする冷凍コンテナを積載している場合には、そのコンテナの温度管理も行います。出入港作業では、係留索の準備、レットロープ投げ、アンカースタンバイなどを行っています。甲板員は週替わりで船首、操舵、船尾担当となりますので、覚えなければいけないことがたくさんあります。荷役作業は、航海中コンテナが荷崩れを起こさないように、固縛作業を行います。固縛作業はコンテナが全て積み終わる頃に行うので、それまでは錆び打ちやベンキ塗りなどの船体整備の作業を行うこともあります。

船員のやりがいは、私1人では決して動かすことのできない大きな船を、乗組員全員の手で動かして目的地まで安全に運航した時の達成感だと思います。今はまだ甲板員で、上司の指示の下で作業を行うことが多くありますが、甲板員の間にいろいろなことを学び、二等航海士、一等航海士となるにあたっては、甲板員から信頼される人になりたいと思っています。

#### 大好きな海で日本経済を支える かけがえのない役割を果たしています



横浜創英高等学校普通科出身  
大和海運株式会社勤務  
平成29年度卒  
黒田 寧音さん

私は幼い頃、屋久島に住んでおり、自然豊かな環境で育ったため海が大好きでした。父親が漁師をしていたこともあり、私も将来は、船に乗って仕事がしたいと思い、来島海峡で実習ができる波方校の門をたたきました。

卒業後は、内航タンカーに乗船して、レギュラーガソリン、軽油、ハイオクガソリン、ジェット燃料、ナフサなどの油種を運んでいます。荷役中は、乗組員全員が甲板に出て、5つあるタンクの油面監視を行いながら、バルブの開閉を手動で行っています。通常は3時間くらいかかりますが、油種によっては7時間かかる場合もあります。ほぼ毎日荷役があるので忙しいですが、積み揚げのラインを覚えることができるので勉強になりますし、日々やりがいを感じることがあります。

役職に関係なく、全ての仕事を満遍なく教えていただいているので、船員としてのスキルアップができていて感じています。船に興味がある人は、来島海峡で実習することできる波方校で、勉強することをお勧めします。

## 在校生からのメッセージ

### ● 夢を胸に日々学びを深める在校生

#### 初めの一步



愛媛県立宇和島水産高等学校  
水産科（海洋技術科）出身  
令和4年度入学2年生

江里口 晃晟くん

#### 1. 本校を受験した理由は？

「国立」という響きにこの上ない憧れを抱きました(笑)。子供の頃見学した横浜のみなとみらいに展示してある帆船日本丸は飾り物だと思っていたのですが、実は今でも実習帆船として使われているのだとTVニュースで見て知り入学したいと思いました。

#### 2. 入学してから楽しいと思ったことは？

寮生活は仲間がいるので毎日楽しい。高校の寮では3年間毎日配食弁当だったので、波方で3食の温かくて美味しい食事が毎日の楽しみです。また、実習で寄港した際に同級生と外出できるので、プチ旅行を楽しむ事も出来ます！

#### 3. 入学してから大変だと感じたことは？

寮生活では2人部屋が4人部屋になることがあり、慣れるまでは大変だなと感じることはありますが、友と協力する力が身に付き今では最高の思い出になっています。

#### 4. 本校へ入学を検討している受験生に一言。

私は海なし県の奈良県出身で、小学校から私立の12年間一貫教育の学校に通っていました。海には全く無縁の子供時代でしたが、中学生のとある日、大型船の航海士のTV番組を見て、これだと思い同高校へは進学せずに水産高校へ舵を切りました。海のプロフェッショナルを目指すなら、波方の来島海峡という最高の学習環境は他の学校の追随を許しません。是非、波方へ入学され我々と共に海洋国家日本の物流を支える一手となりませんか？

#### 充実した2年間を多くの仲間と



愛媛県立今治工業高等学校  
工業科（電気科）出身  
令和5年度入学1年生

野間 瑛心くん

#### 1. 本校を受験した理由は？

今治では造船業が盛んであり日頃から船を見る機会が多く、船に興味を持っていたのと、波方校では来島海峡での実習で多くのことが学べるほか、航海と機関の両方を学んでいくうえで自分のなりたい方が見つかったらいいなと思い波方校を受験しました。

#### 2. 入学してから楽しいと思ったことは？

海上実習では実際に船をみんなと協力して動かして学べると、日々の生活では周囲に様々な人がおり、毎日退屈せずに過ごせるので楽しいです。

#### 3. 入学してから大変だと感じたことは？

日々の日課に慣れるまでは大変でした。

#### 4. 本校入学を検討している受験生に一言。

不安に思うこともあるかもしれませんが、周囲には先生や同級生など近くて助けてくれる人がいるので楽しく充実した2年間が過ごせると思います！

## After School

### 放課後

放課後は、グラウンドや体育館でスポーツを行ったり、図書室で国家試験の勉強を自主的に行っている学生がいます。学習以外に就職関係の情報収集に必要な設備も備えています。



## Student Dormitory

### 学生寮 (男子寮のみ)

船員に必要な協調性や社会性を養うため寮を完備しています。寮生活では、日課表に従った規則正しい生活を過ごします。食事は平日だけでなく、土日祝日も3食供食します。また、教職員が交代で入直して学生の急な病気等にも対応できる体制をとっています。



## Uniform

### 制服

学生、一人ひとりを受け止め、多様な選択肢を用意することが我々の最大の支援だと考えます。標準服となる制服・作業服は、違いを認め合いながら、仲間との繋がりを感じながら日々の学びの着こなしとして準備しています。女子学生の制服はスカートとスラックスのどちらかを選ぶことができます。

